

## 運用報告書 (全体版)

### 米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2009年10月30日から2024年10月15日までです。	
運用方針	米ドル建てのハイイールド債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	米国ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	円建ての外国投資信託である「L A U S ハイイールド債券ファンド (豪ドルクラス)」受益証券 (外国投資信託 (豪ドルクラス) とも言います。) および円建ての国内籍の投資信託である「MH AM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LA USハイイールド債券ファンド (豪ドルクラス)	主として米ドル建てのハイイールド債を主要投資対象とします。
	MH AM短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	外国投資信託 (豪ドルクラス) への投資を中心にを行います。外国投資信託 (豪ドルクラス) では、保有資産に対し、原則として、対象ドルでの為替取引 (保有資産が米ドル建て資産の場合は、米ドル売り、豪ドル買い) を行います。	
組入制限	米国ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。
	LA USハイイールド債券ファンド (豪ドルクラス)	流動性の乏しい資産へ投資する場合は、価格の透明性を確保する方法が取られているものとし、その投資割合は純資産総額の15%以下とします。デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。
	MH AM短期金融資産マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。株式への投資は行いません。
分配方針	第3期以降の毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

第133期	<決算日	2020年11月12日>
第134期	<決算日	2020年12月14日>
第135期	<決算日	2021年1月12日>
第136期	<決算日	2021年2月12日>
第137期	<決算日	2021年3月12日>
第138期	<決算日	2021年4月12日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース」は、2021年4月12日に第138期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

# 米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託受益証券組入比率	債券組入比率	純資産額
		(分配落)	税金分配	み入金騰落			
		円	円	%	%	%	百万円
第19作成期	109期 (2018年11月12日)	4,067	25	2.8	99.0	0.1	30,873
	110期 (2018年12月12日)	3,923	25	△2.9	99.0	0.1	28,156
	111期 (2019年1月15日)	3,745	25	△3.9	98.3	0.1	26,225
	112期 (2019年2月12日)	3,770	25	1.3	98.1	0.1	25,913
	113期 (2019年3月12日)	3,807	25	1.6	98.6	0.1	25,501
	114期 (2019年4月12日)	3,925	25	3.8	99.2	0.1	25,624
第20作成期	115期 (2019年5月13日)	3,755	25	△3.7	99.1	0.2	24,335
	116期 (2019年6月12日)	3,703	25	△0.7	99.3	0.2	23,698
	117期 (2019年7月12日)	3,736	25	1.6	99.7	0.2	23,612
	118期 (2019年8月13日)	3,531	25	△4.8	99.1	0.2	22,006
	119期 (2019年9月12日)	3,621	25	3.3	99.1	0.2	22,409
	120期 (2019年10月15日)	3,575	25	△0.6	99.2	0.2	21,930
第21作成期	121期 (2019年11月12日)	3,621	25	2.0	99.4	0.2	21,870
	122期 (2019年12月12日)	3,605	25	0.2	99.6	0.2	21,338
	123期 (2020年1月14日)	3,704	25	3.4	99.2	0.2	21,535
	124期 (2020年2月12日)	3,581	25	△2.6	98.7	0.2	20,582
	125期 (2020年3月12日)	3,064	25	△13.7	98.3	0.2	17,381
	126期 (2020年4月13日)	2,801	25	△7.8	98.4	0.2	15,711
第22作成期	127期 (2020年5月12日)	2,936	15	5.4	99.1	0.1	16,366
	128期 (2020年6月12日)	3,246	15	11.1	99.1	0.1	17,945
	129期 (2020年7月13日)	3,297	15	2.0	99.3	0.1	17,885
	130期 (2020年8月12日)	3,518	15	7.2	99.3	0.1	18,788
	131期 (2020年9月14日)	3,564	15	1.7	99.4	0.1	18,612
	132期 (2020年10月12日)	3,545	15	△0.1	99.3	0.1	18,250
第23作成期	133期 (2020年11月12日)	3,603	15	2.1	99.5	0.1	18,131
	134期 (2020年12月14日)	3,749	15	4.5	99.4	0.1	18,213
	135期 (2021年1月12日)	3,901	15	4.5	99.0	0.1	18,451
	136期 (2021年2月12日)	3,949	15	1.6	99.8	0.1	18,038
	137期 (2021年3月12日)	4,039	15	2.7	99.6	0.1	17,913
	138期 (2021年4月12日)	4,022	15	△0.0	99.4	0.1	17,485

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第133期	(期首) 2020年10月12日	3,545	—	99.3	0.1
	10月末	3,376	△4.8	99.0	0.1
	(期末) 2020年11月12日	3,618	2.1	99.5	0.1
第134期	(期首) 2020年11月12日	3,603	—	99.5	0.1
	11月末	3,659	1.6	98.9	0.1
	(期末) 2020年12月14日	3,764	4.5	99.4	0.1
第135期	(期首) 2020年12月14日	3,749	—	99.4	0.1
	12月末	3,806	1.5	99.7	0.1
	(期末) 2021年1月12日	3,916	4.5	99.0	0.1
第136期	(期首) 2021年1月12日	3,901	—	99.0	0.1
	1月末	3,865	△0.9	98.8	0.1
	(期末) 2021年2月12日	3,964	1.6	99.8	0.1
第137期	(期首) 2021年2月12日	3,949	—	99.8	0.1
	2月末	4,096	3.7	99.5	0.1
	(期末) 2021年3月12日	4,054	2.7	99.6	0.1
第138期	(期首) 2021年3月12日	4,039	—	99.6	0.1
	3月末	4,004	△0.9	98.2	0.1
	(期末) 2021年4月12日	4,037	△0.0	99.4	0.1

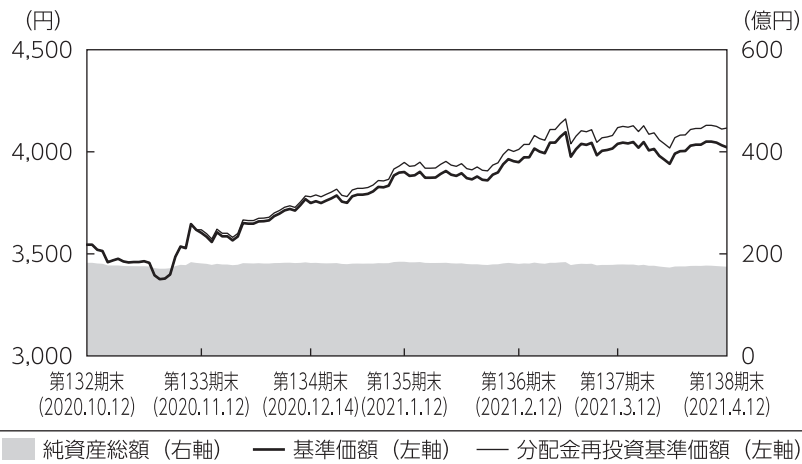
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■第133期～第138期の運用経過（2020年10月13日から2021年4月12日まで）

### 基準価額等の推移



第133期首： 3,545円  
 第138期末： 4,022円  
 (既払分配金90円)  
 騰落率： 16.1%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

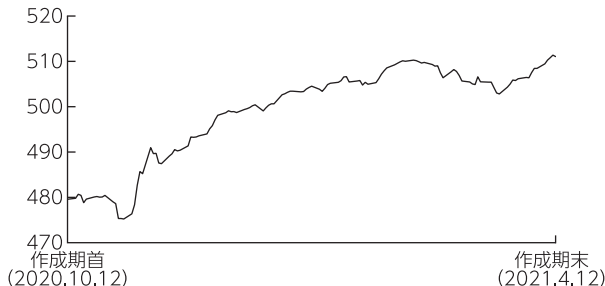
### 基準価額の主な変動要因

主に、「L A U Sハイイールドボンドファンド（豪ドルクラス）」受益証券への投資を通じて、米国のハイイールド債券に投資を行った結果、市況が上昇したことに加え、豪ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

## 投資環境

### ●海外債券市況と為替市場

#### <米国ハイイールド債市場の推移>

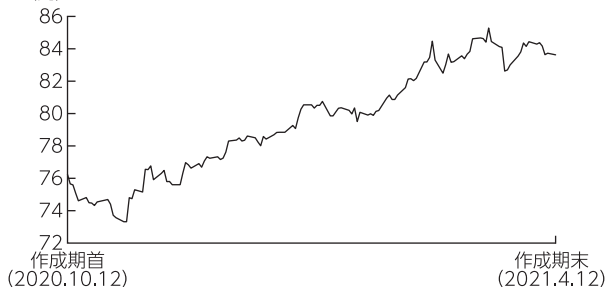


- (注1) 当グラフは、ICEBofAML・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・コンストレインド・インデックス（米ドルベース）の前営業日の値を用いております。
- (注2) ICE Data Indices, LLC（「ICE Data」）、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne(株)又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

米国ハイイールド債市場は、上昇しました。

作成期初は米大統領選への不透明感などから下落する場面もありましたが、11月以降は新型コロナウイルスのワクチン開発や、バイデン新政権による大型経済対策への期待感などから、堅調に推移しました。その後もワクチン接種開始を背景に経済活動再開への期待感が高まったことなどから上昇基調を継続しました。対米国内債スプレッドは、縮小しました。

#### <（豪ドル）対円為替レートの推移>

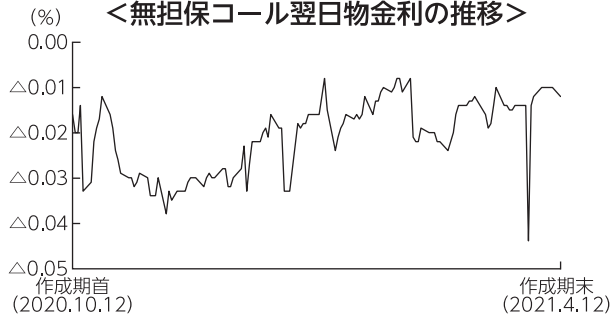


豪ドルの対円相場は、上昇しました。

作成期初はRBA（豪州準備銀行）総裁による追加金融緩和を示唆する発言などが嫌気され下落する場面もありましたが、その後は新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感などを背景にリスク選好姿勢が高まったことや、鉄鉱石価格の上昇などを受け上昇基調で推移しました。作成期末にかけてはRBAによる早期利上げ観測が後退したことなどから一部上昇幅を縮小しました。

## ●短期金融資産市況

### <無担保コール翌日物金利の推移>



無担保コール翌日物金利は当作成期間中マイナスの水準で推移しました。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。日本銀行当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む当該政策が継続された結果、無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

「L A U Sハイイールドボンドファンド（豪ドルクラス）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### ●L A U Sハイイールドボンドファンド（豪ドルクラス）

主として、企業のファンダメンタルズ分析などに基づくボトムアップアプローチにより銘柄選択を行いました。

格付け別構成比率では、B B格、B格を中心としたポートフォリオを維持しました。

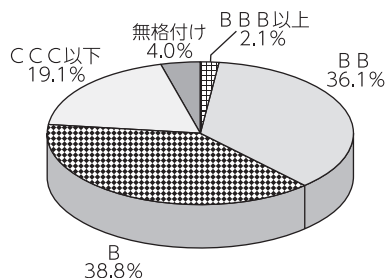
業種別構成比率では、エネルギー、素材、娯楽セクターを高めとする方針を維持し、当作成期はエネルギーやサービスセクターなどの比率を引き上げ、素材やヘルスケアセクターなどの比率を引き下げました。

債券の組入比率は、当作成期中を通じて高位を維持しました。

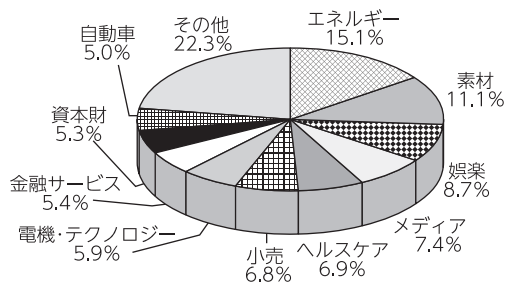
保有資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

<ポートフォリオの概要> 2021年4月9日現在

【格付け別構成比率】



【業種別構成比率】



【組入上位10銘柄】

順位	銘柄名	利率	償還日	格付け	比率	業種
1	ネットフリックス	5.375%	2029/11/15	B B -	1.3%	メディア
2	スプリント キャピタル	6.875%	2028/11/15	B +	1.1%	通信
3	テネット・ヘルスケア	6.250%	2027/2/1	CCC +	0.8%	ヘルスケア
4	ナビエント	6.750%	2025/6/25	B +	0.8%	金融サービス
5	クラフト・ハイツ・フーズ	5.000%	2042/6/4	B B +	0.7%	消費財
6	CCOホールディングス	5.125%	2027/5/1	B +	0.7%	メディア
7	ネットフリックス	5.875%	2028/11/15	B B -	0.7%	メディア
8	トランスダイム	5.500%	2027/11/15	B -	0.7%	資本財
9	フォード・モーター	9.000%	2025/4/22	B B	0.7%	自動車
10	FMGリソーシズ	4.500%	2027/9/15	B B +	0.6%	素材

(注) 比率は、公社債等の評価総額に対する評価額の割合です。小数点第2位を四捨五入しています。なお、格付けはS & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています（表記方法はS & Pに準拠）。

## ●MHAM短期金融資産マザーファンド

前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間が1年以内の短期公社債などで運用を行いました。

上記運用を行った結果、基準価額は概ね横ばいとなりました。日本銀行の強力な金融緩和政策により、当ファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%からマイナスの水準で推移したことが要因となります。

### 【組入上位5銘柄】

2020年10月12日現在

2021年4月12日現在

順位	銘柄	償還日	比率
1	22年度8回 福岡県公募公債	2020/12/24	14.1%
2	691回 東京都公募公債	2020/12/18	14.1%
3	22年度1回 福井県公募公債	2020/10/29	12.4%
4	139回 高速道路機構債	2021/7/30	8.5%
5	34回 住宅金融支援機構財形	2021/6/28	8.5%

順位	銘柄	償還日	比率
1	23年度6回 大阪市公募公債	2021/9/16	15.3%
2	1回 政保地方公共団体金融機構債券 8年	2021/9/24	11.3%
3	28年度1回 なじらね債	2021/11/30	9.4%
4	139回 高速道路機構債	2021/7/30	8.5%
5	34回 住宅金融支援機構財形	2021/6/28	8.5%

(注) 比率は、MHAM短期金融資産マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## 分配金

当作成期の収益分配金は、安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
	2020年10月13日 ~2020年11月12日	2020年11月13日 ~2020年12月14日	2020年12月15日 ~2021年1月12日	2021年1月13日 ~2021年2月12日	2021年2月13日 ~2021年3月12日	2021年3月13日 ~2021年4月12日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.41%	0.40%	0.38%	0.38%	0.37%	0.37%
当期の収益	15円	15円	15円	15円	15円	15円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	354円	358円	362円	366円	370円	371円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。



## 今後の運用方針

### ●当ファンド

「L A U Sハイイールドボンドファンド（豪ドルクラス）」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

### ●L A U Sハイイールドボンドファンド（豪ドルクラス）

米国ハイイールド債を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。

引き続き定性分析・定量分析に市場環境分析を加え、良質な資産と優良な経営陣を持つ企業を重点的に抽出し、的確な銘柄選択に努めることでリターンを追求して参ります。

また、保有資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

### ●MHAM短期金融資産マザーファンド

引き続き無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移すると考えます。

日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続すると見込みます。同政策が継続する間、当マザーファンドで投資する残存期間の短い債券の利回りは、引き続き低位の水準で推移すると考えます。

この見通しのもと、元本の安全性、流動性を勘案し、残存1年以内の短期公社債などに投資する方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第133期～第138期 (2020年10月13日 ～2021年4月12日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	18円	
(投信会社)	( 7)	(0.191)	
(販売会社)	(10)	(0.273)	
(受託会社)	( 1)	(0.015)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	18	0.480	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

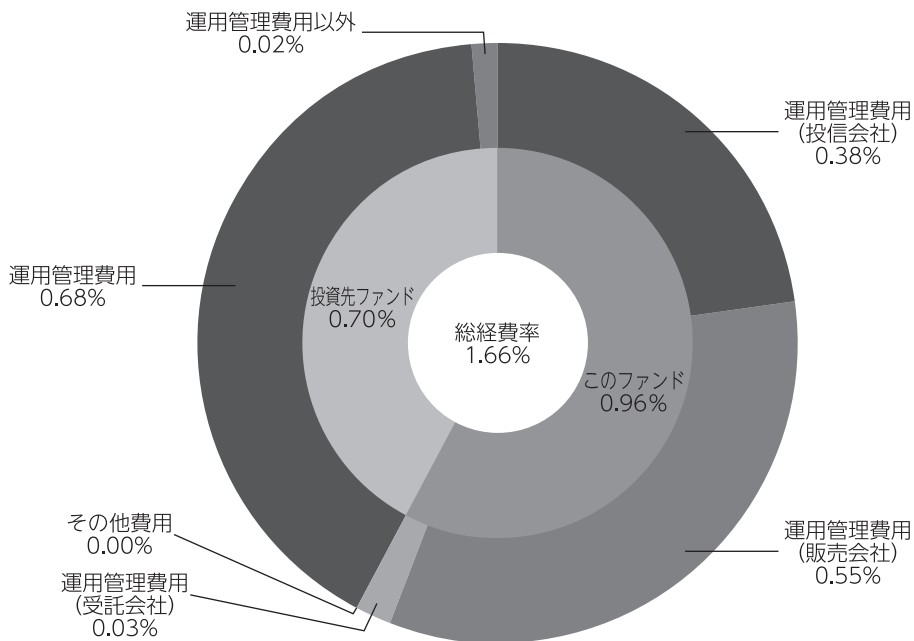
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



総経費率 (①+②+③)	1.66%
①このファンドの費用の比率	0.96%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉徴収税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買及び取引の状況 (2020年10月13日から2021年4月12日まで)

### 投資信託受益証券

		第 133 期 ~ 第 138 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨 建	L A U S ハイイールドボンド ファンド(豪ドルクラス)	千円 -	千円 -	千円 3,417,288.213	千円 2,963,000
		(-)	(-)	(-)	(-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( ) 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2020年10月13日から2021年4月12日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## ■利害関係人との取引状況等 (2020年10月13日から2021年4月12日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第22作成期末	第 23 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
L A U S ハイイールドボンドファンド (豪ドルクラス)	千円 22,299,269.314	千円 18,881,981.101	千円 17,380,863	% 99.4
合 計	22,299,269.314	18,881,981.101	17,380,863	99.4

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

### (2) 親投資信託残高

	第22作成期末	第 23 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
M H A M 短期金融資産マザーファンド	千円 15,359	千円 15,359	千円 15,712

## ■投資信託財産の構成

2021年4月12日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	17,380,863	98.4
M H A M 短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	15,712	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	265,226	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	17,661,802	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年11月12日)、 (2020年12月14日)、 (2021年1月12日)、 (2021年2月12日)、 (2021年3月12日)、 (2021年4月12日)現在

項 目	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末
(A) 資 産	18,281,806,596円	18,500,093,490円	18,600,254,015円	18,269,738,008円	18,084,421,206円	17,661,802,726円
コール・ローン等	218,896,976	195,652,453	320,545,790	252,283,923	234,457,272	265,226,309
投資信託受益証券(評価額)	18,047,195,270	18,110,726,687	18,263,995,411	18,001,741,271	17,834,251,120	17,380,863,603
MHAM短期金融資産 マザーファンド(評価額)	15,714,350	15,714,350	15,712,814	15,712,814	15,712,814	15,712,814
未 収 入 金	-	178,000,000	-	-	-	-
(B) 負 債	150,499,797	286,816,419	148,502,969	231,137,848	170,939,962	176,483,735
未払収益分配金	75,476,862	72,870,502	70,944,980	68,519,978	66,528,535	65,213,488
未払解約金	60,460,589	198,547,946	63,533,523	147,659,011	90,938,062	96,706,954
未払信託報酬	14,518,312	15,351,410	13,982,058	14,913,628	13,432,623	14,519,257
その他未払費用	44,034	46,561	42,408	45,231	40,742	44,036
(C) 純資産総額(A-B)	18,131,306,799	18,213,277,071	18,451,751,046	18,038,600,160	17,913,481,244	17,485,318,991
元 本	50,317,908,014	48,580,334,754	47,296,653,884	45,679,985,765	44,352,356,818	43,475,659,098
次期繰越損益金	△32,186,601,215	△30,367,057,683	△28,844,902,838	△27,641,385,605	△26,438,875,574	△25,990,340,107
(D) 受益権総口数	50,317,908,014□	48,580,334,754□	47,296,653,884□	45,679,985,765□	44,352,356,818□	43,475,659,098□
1万口当たり基準価額(C/D)	3,603円	3,749円	3,901円	3,949円	4,039円	4,022円

(注) 第132期末における元本額は51,478,252,799円、当作成期間(第133期~第138期)中における追加設定元本額は205,519,856円、同解約元本額は8,208,113,557円です。

## ■損益の状況

[自2020年10月13日 至2020年11月12日] [自2020年11月13日 至2020年12月14日] [自2020年12月15日 至2021年1月12日] [自2021年1月13日 至2021年2月12日] [自2021年2月13日 至2021年3月12日] [自2021年3月13日 至2021年4月12日]

項 目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
(A)配 当 等 収 益	98,235,578円	95,036,399円	92,706,453円	89,164,046円	86,968,824円	84,815,427円
受 取 配 当 金	98,239,644	95,041,374	92,709,840	89,166,197	86,971,789	84,818,217
受 取 利 息	8	52	67	54	9	9
支 払 利 息	△4,074	△5,027	△3,454	△2,205	△2,974	△2,799
(B)有価証券売買損益	284,066,159	701,296,783	711,982,718	211,901,869	392,096,699	△79,083,797
売 買 益	291,690,767	709,655,206	714,268,724	213,596,462	399,509,849	4,068,812
売 買 損	△7,624,608	△8,358,423	△2,286,006	△1,694,593	△7,413,150	△83,152,609
(C)信 託 報 酬 等	△14,562,346	△15,397,971	△14,024,466	△14,958,859	△13,473,365	△14,563,293
(D)当期損益金(A + B + C)	367,739,391	780,935,211	790,664,705	286,107,056	465,592,158	△8,831,663
(E)前期繰越損益金	△10,502,376,815	△9,850,206,869	△8,893,990,731	△7,889,667,528	△7,444,607,464	△6,900,039,580
(F)追加信託差損益金	△21,976,486,929	△21,224,915,523	△20,670,631,832	△19,969,305,155	△19,393,331,733	△19,016,255,376
(配当等相当額)	(1,716,792,014)	(1,657,564,238)	(1,613,828,757)	(1,558,734,390)	(1,513,507,995)	(1,483,720,862)
(売買損益相当額)	(△23,693,278,943)	(△22,882,479,761)	(△22,284,460,589)	(△21,528,039,545)	(△20,906,839,728)	(△20,499,976,238)
(G)合 計(D + E + F)	△32,111,124,353	△30,294,187,181	△28,773,957,858	△27,572,865,627	△26,372,347,039	△25,925,126,619
(H)収 益 分 配 金	△75,476,862	△72,870,502	△70,944,980	△68,519,978	△66,528,535	△65,213,488
次期繰越損益金(G + H)	△32,186,601,215	△30,367,057,683	△28,844,902,838	△27,641,385,605	△26,438,875,574	△25,990,340,107
追加信託差損益金	△21,976,486,929	△21,224,915,523	△20,670,631,832	△19,969,305,155	△19,393,331,733	△19,016,255,376
(配当等相当額)	(1,716,792,015)	(1,657,564,239)	(1,613,828,757)	(1,558,734,390)	(1,513,507,995)	(1,483,720,862)
(売買損益相当額)	(△23,693,278,944)	(△22,882,479,762)	(△22,284,460,589)	(△21,528,039,545)	(△20,906,839,728)	(△20,499,976,238)
分配準備積立金	66,011,080	84,022,409	101,893,863	114,564,524	129,166,972	131,543,039
繰 越 損 益 金	△10,276,125,366	△9,226,164,569	△8,276,164,869	△7,786,644,974	△7,174,710,813	△7,105,627,770

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
(a)経費控除後の配当等収益	94,504,053円	93,208,728円	91,097,111円	84,738,276円	84,527,759円	70,257,107円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c)収 益 調 整 金	1,716,792,015	1,657,564,239	1,613,828,757	1,558,734,390	1,513,507,995	1,483,720,862
(d)分 配 準 備 積 立 金	46,983,889	63,684,183	81,741,732	98,346,226	111,167,748	126,499,420
(e)当期分配対象額(a+b+c+d)	1,858,279,957	1,814,457,150	1,786,667,600	1,741,818,892	1,709,203,502	1,680,477,389
(f)1万円当たり当期分配対象額	369.31	373.50	377.76	381.31	385.37	386.53
(g)分 配 金	75,476,862	72,870,502	70,944,980	68,519,978	66,528,535	65,213,488
(h)1万円当たり分配金	15	15	15	15	15	15

## ■分配金のお知らせ

決算期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
1万口当たり分配金	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# LA USハイイールドボンドファンド

円クラス/米ドルクラス/豪ドルクラス/南アフリカランドクラス/ブラジルリアルクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍外国投資信託/オープン・エンド型	
信託期間	2159年12月31日まで	
投資対象	主として米ドル建てのハイイールド債を主要投資対象とします。 また、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引（NDF）等を活用します。（米ドルクラスは除きます。）	
投資態度	① 主として米ドル建てのハイイールド債に分散投資を行います。	
	② 投資するハイイールド債については、主としてBB+格（S & Pグローバル・レーティング）以下またはBaa1格（ムーディーズ・インベスターズ・サービス）以下の格付けが付与されている債券に投資を行います。	
	③ CCC+格（S & Pグローバル・レーティング）以下またはCaa1格（ムーディーズ・インベスターズ・サービス）以下の格付けが付与されている債券への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の35%以内とします。	
	④ 一部格付けをもたない債券に投資する場合があります。なお、その投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。	
	⑤ 格付けについては、S & Pグローバル・レーティングまたはムーディーズ・インベスターズ・サービスの格付けを基準とし、同一銘柄で格付けが異なる場合はどちらか低い方の格付けを採用します。	
	⑥ 銘柄選定にあたっては、個別銘柄の徹底した信用リスク分析と銘柄分散を基本に行います。	
	⑦ 投資対象には米国以外の企業等が発行する債券等が含まれます。なお、債務証券、転換社債、優先証券などへ投資を行う場合があります。	
	⑧ 各外国投資信託（クラス）ごとに、保有資産に対し、原則として以下の為替管理を行います。 (各外国投資信託（クラス）の為替管理（為替取引の手法）について）	
	LA USハイイールドボンドファンド （円クラス）	保有資産に対し、対円での為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、米ドル売り、円買い）を行います。
	LA USハイイールドボンドファンド （米ドルクラス）	保有資産に対し、為替取引（為替管理）を行いません。
	LA USハイイールドボンドファンド （豪ドルクラス）	保有資産に対し、対豪ドルでの為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、実質的な米ドル売り、豪ドル買い）を行います。
	LA USハイイールドボンドファンド （南アフリカランドクラス）	保有資産に対し、対南アフリカランドでの為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、実質的な米ドル売り、南アフリカランド買い）を行います。
	LA USハイイールドボンドファンド （ブラジルリアルクラス）	保有資産に対し、対ブラジルリアルでの為替取引（保有資産が米ドル建て資産の場合は、実質的な米ドル売り、ブラジルリアル買い）を行います。
	⑨ 市況動向や外国投資信託の資金事情等によっては、上記のような運用ができない場合があります。	
決算日	年1回（12月31日）	
費用等	運用管理費用等：信託財産の純資産総額に対し年率0.695%程度 その他費用等：信託財産に関する租税/組入有効証券売買の際に発生する売買手数料/信託事務の処理に要する諸費用/信託財産の監査に要する費用/借入金の利息および立替金の利息/法律関係の費用およびファンド組成にかかる費用等 ※運用管理費用等には、年次による最低費用等が設定されているものがあります。	
受託会社	ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド	
運用会社	ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー	
為替管理会社	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	
事務管理会社	ミズホ・バンク（USA）	



L A U Sハイイールドボンドファンドはケイマン籍外国投資信託で、2019年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下の「包括利益計算書」、「ユニット保有者に帰属する純資産変動計算書」および「為替予約」は、2019年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、L A U Sハイイールドボンドファンド各クラスは、当ファンドの個別クラスとなっております。

## (1) 包括利益計算書 (日本円で表示)

	2019年12月31日終了年度	
<b>投資収益／(損失)</b>		
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる利息	¥	3,205,586,234
受取配当金		7,050,419
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現評価益／(評価損)の純変動		6,521,606,762
為替予約にかかる未実現評価益／(評価損)の純変動		2,608,256,401
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる純実現損失		(1,319,690,191)
為替予約にかかる純実現損失		(3,523,977,989)
その他収益		35,748,327
<b>純利益／(損失)</b>		<b>7,534,579,963</b>
<b>費用</b>		
投資運用報酬		252,407,430
管理報酬		73,106,002
為替取引報酬		37,062,587
保管報酬		14,162,740
受託報酬		5,654,480
監査報酬		9,896,601
その他費用		396,427
<b>営業費用合計</b>		<b>392,686,267</b>
<b>純営業利益／(損失)</b>		<b>7,141,893,696</b>
<b>金融費用</b>		
ユニット保有者への分配		(4,470,437,531)
<b>税金</b>		
源泉徴収税		(12,526,886)
<b>ユニット保有者に帰属する営業活動及び包括利益合計による純資産の純増加(減少)</b>	¥	<b>2,658,929,279</b>

## (2) ユニット保有者に帰属する純資産変動計算書 (日本円で表示)

	2019年12月31日終了年度	
2018年12月31日現在の残高		59,251,724,510
年度中に発行したユニット		130,000,000
年度中に償還したユニット		(10,586,000,000)
年度中におけるユニット保有者に帰属する営業活動及び包括利益合計による純資産の純増加		2,658,929,279
2019年12月31日現在の残高	¥	<b>51,454,653,789</b>

### (3) 為替予約

未決済為替予約の要約は以下の通りである。

2019年12月31日	満期日	未実現利益
クラスAUD 詳細		
買い AUD296,447,518、売り JPY21,895,487,880	2020年1月6日	¥ 746,634,929
買い AUD286,127,405、売り JPY21,533,495,084	2020年2月4日	299,958,144
買い USD2,049,441、売り JPY222,195,941	2020年1月6日	448,206
買い JPY102,351,378、売り USD933,991	2020年1月8日	849,931
買い JPY21,018,066,272、売り USD192,820,440	2020年2月4日	105,049,583
クラスBRL 詳細		
買い BRL660,304,922、売り JPY7,039,080,512	2020年1月6日	789,245,788
買い BRL635,535,341、売り JPY17,015,639,129	2020年2月4日	96,784,054
買い USD2,677,046、売り JPY290,293,913	2020年1月6日	530,997
買い JPY127,101,558、売り BRL4,705,339	2020年2月4日	405,611
買い JPY523,635,934、売り USD4,792,072	2020年1月6日	3,041,929
買い JPY127,101,558、売り USD1,159,844	2020年1月8日	1,055,458
買い JPY16,786,935,886、売り USD153,995,997	2020年2月4日	84,760,225
クラスJPY 詳細		
買い USD355,640、売り JPY38,575,585	2020年1月6日	59,917
買い JPY91,855,159、売り USD840,251	2020年1月6日	558,507
買い JPY20,152,237、売り USD183,896	2020年1月8日	167,346
買い JPY5,222,541,397、売り USD47,913,224	2020年2月4日	25,944,757
クラスUSD 詳細		
買い JPY41,629,492、売り USD380,439	2020年1月8日	285,329
クラスZAR 詳細		
買い ZAR64,447,756、売り JPY472,967,120	2020年1月6日	27,337,944
買い ZAR63,648,156、売り JPY484,503,471	2020年2月4日	6,883,134
買い USD44,138、売り JPY4,794,749	2020年1月6日	253
買い JPY14,873,109、売り USD135,969	2020年1月6日	101,946
買い JPY4,794,749、売り USD43,754	2020年1月8日	39,816
買い JPY481,813,086、売り USD4,419,921	2020年2月4日	2,435,028
		<hr/>
		¥ 2,192,578,832

2019年12月31日

クラスAUD 詳細

	満期日	未実現利益
買い USD196,391,740、売り J P Y21,439,122,800	2020年1月6日	¥ (103,720,362)
買い USD2,657,550、売り J P Y290,351,378	2020年2月4日	(2,117,496)
買い J P Y22,316,720,390、売り AUD296,447,518	2020年1月6日	(325,402,419)
買い J P Y290,351,378、売り AUD3,834,905	2020年2月4日	(2,277,783)
買い J P Y21,240,086,232、売り USD196,155,282	2020年1月6日	(69,540,210)

クラスBRL 詳細

買い USD156,468,214、売り J P Y17,082,234,976	2020年1月6日	(83,884,177)
買い USD2,482,630、売り J P Y271,101,558	2020年2月4日	(1,839,249)
買い J P Y17,706,390,072、売り BRL660,304,922	2020年1月6日	(121,936,229)
買い J P Y144,000,000、売り BRL5,388,193	2020年2月4日	(1,082,476)
買い J P Y16,181,583,394、売り USD149,439,273	2020年1月6日	(52,978,632)

クラスJ P Y 詳細

買い USD47,913,224、売り J P Y5,230,351,252	2020年1月6日	(25,225,539)
買い USD1,080,180、売り J P Y118,007,396	2020年2月4日	(852,702)
買い J P Y5,177,071,678、売り USD47,811,009	2020年1月6日	(16,949,774)

クラスZAR 詳細

買い USD4,419,681、売り J P Y482,509,174	2020年1月6日	(2,364,716)
買い USD43,814、売り J P Y4,794,749	2020年2月4日	(42,784)
買い J P Y492,928,379、売り ZAR64,447,756	2020年1月6日	(7,376,685)
買い J P Y4,794,749、売り ZAR623,237	2020年2月4日	(16,864)
買い J P Y452,469,555、売り USD4,178,646	2020年1月6日	(1,484,021)

¥ (819,092,118)

(4) 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：467銘柄)

順位	銘柄	比率
1	DISH DBS CORP. 7.75% 7/1/2026	1.3
2	HCA, INC. 8.36% 4/15/2024	1.2
3	SPRINT CAPITAL CORP. 6.875% 11/15/2028	1.2
4	CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CA 5.125% 5/1/2027	1.0
5	NAVIENT CORP. 6.75% 6/25/2025	0.8
6	VALEANT PHARMACEUTICALS INTERNATION 8.5% 1/31/2027	0.8
7	ALLY FINANCIAL, INC. 8% 11/1/2031	0.8
8	TESLA MOTORS, INC. 5.3% 8/15/2025	0.8
9	TRANSDIGM, INC. 6.375% 6/15/2026	0.7
10	MEG ENERGY CORP. 7% 3/31/2024	0.7

(注1) 組入上位10銘柄については、L A U Sハイイールドボンドファンドの2019年12月27日現在の状況を表示しております。

(注2) 比率は、L A U Sハイイールドボンドファンドの投資有価証券の合計に対する割合です。

(注3) ロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシー (ロード・アベット社) 提供のデータ等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。

# MHAM短期金融資産マザーファンド

## 運用報告書

第20期（決算日 2020年6月30日）

（計算期間 2019年7月2日～2020年6月30日）

MHAM短期金融資産マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2000年7月28日から無期限です。
運用方針	わが国の短期公社債および短期金融商品を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利を指数化した収益率を上回る運用成果を目指します。
主要投資対象	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク)		無担保コール 翌日物金利	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落率	期騰落率	期騰落率				
16期 (2016年6月30日)	10,226	0.049	10,180.29	0.034	△0.064	98.1	—	百万円 254
17期 (2017年6月30日)	10,222	△0.039	10,175.57	△0.046	△0.069	99.0	—	254
18期 (2018年7月2日)	10,225	0.029	10,170.21	△0.053	△0.074	92.3	—	200
19期 (2019年7月1日)	10,228	0.029	10,164.03	△0.061	△0.071	93.8	—	181
20期 (2020年6月30日)	10,230	0.020	10,159.77	△0.042	△0.068	91.8	—	177

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 無担保コール翌日物累積指数は2000年7月27日を10,000とし、無担保コール翌日物金利の収益を指数化したものです（小数第3位四捨五入）（以下同じ）。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

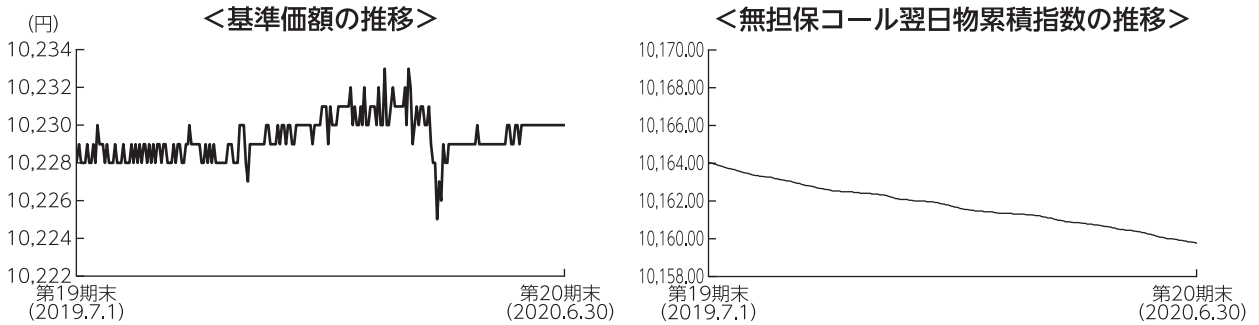
## ■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		無担保コール翌日物累積指数 (ベンチマーク)		無担保コール 翌日物金利	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2019年7月1日	円 10,228	% -	10,164.03	% -	% △0.071	% 93.8	% -
7月末	10,228	0.000	10,163.44	△0.006	△0.071	93.7	-
8月末	10,228	0.000	10,163.05	△0.010	△0.061	95.8	-
9月末	10,229	0.010	10,162.56	△0.015	△0.064	91.4	-
10月末	10,230	0.020	10,162.39	△0.016	△0.030	93.3	-
11月末	10,230	0.020	10,162.04	△0.020	△0.034	97.9	-
12月末	10,231	0.029	10,161.73	△0.023	△0.068	91.5	-
2020年1月末	10,230	0.020	10,161.40	△0.026	△0.039	91.4	-
2月末	10,231	0.029	10,161.27	△0.027	△0.025	90.0	-
3月末	10,226	△0.020	10,160.86	△0.031	△0.070	90.8	-
4月末	10,229	0.010	10,160.56	△0.034	△0.060	93.6	-
5月末	10,229	0.010	10,160.19	△0.038	△0.073	93.5	-
(期 末) 2020年6月30日	10,230	0.020	10,159.77	△0.042	△0.068	91.8	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過 (2019年7月2日から2020年6月30日まで)



### 基準価額の推移

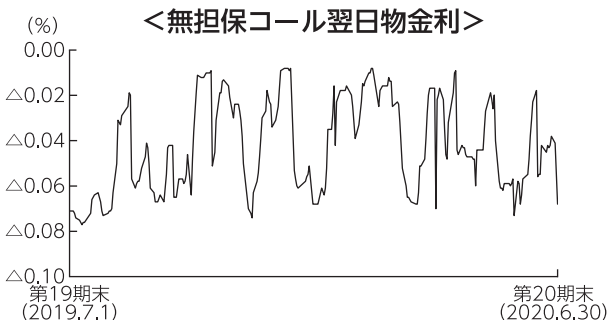
当ファンドの基準価額は10,230円となり、前期末比で0.02%上昇しました。

### 基準価額の主な変動要因

日本銀行の強力な金融緩和政策が継続したことで、無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。そのような環境下、当マザーファンドの主な投資対象である短期公社債の利回りが概ねゼロ%の水準で推移したことで、基準価額は概ね横ばいとなりました。

### 投資環境

#### ●短期金融資産市況



当期間中、日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。日本銀行当座預金の残高の一部に△0.1%のマイナス金利を適用すること等を含む当該政策が継続された結果、無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移しました。

## ポートフォリオについて

前回運用報告書に記載した「今後の運用方針」に基づき、残存期間が1年以内の短期公社債を中心に組み入れ、当期間中の債券の組入比率は高位を維持しました。

### 【組入上位銘柄】

期首				
順位	銘柄	利率	償還日	比率
1	21年度6回 千葉県公募公債	1.410%	2019/9/25	11.0%
2	21年度2回 北九州市公募公債	1.360%	2019/12/24	8.7%
3	21年度10回 愛知県公募公債 10年	1.380%	2019/10/30	7.8%
4	21年度1回 福井県公募公債	1.340%	2019/12/25	7.7%
5	42回 川崎市公募公債 5年	0.101%	2019/12/20	7.4%

期末				
順位	銘柄	利率	償還日	比率
1	691回 東京都公募公債	1.240%	2020/12/18	14.2%
2	22年度1回 福井県公募公債	0.930%	2020/10/29	12.5%
3	178回 神奈川県公募公債	1.050%	2020/9/18	8.8%
4	22年度8回 福岡県公募公債	1.290%	2020/12/24	8.5%
5	341回 大阪府公募公債	1.060%	2020/8/28	7.9%

(注) 比率はMHAM短期金融資産マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## ベンチマークとの差異について

基準価額の騰落率はベンチマークを0.06%上回りました。当期間中、日本銀行の強力な金融緩和政策により、ベンチマークである無担保コール翌日物金利がマイナスの水準で推移した一方、相対的に利回り水準に魅力のある地方債などに投資したことがプラスに寄与しました。

## 今後の運用方針

引き続き無担保コール翌日物金利はマイナスの水準で推移すると考えます。日本銀行は、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続すると見込みます。同政策が継続する間、当マザーファンドで投資する残存期間の短い債券の利回りは、引き続き低位の水準で推移すると考えます。この見通しのもと、元本の安全性、流動性を勘案し、残存1年以内の短期公社債を中心に投資する方針です。

## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2019年7月2日から2020年6月30日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	143,547 <sup>千円</sup>	20,030 <sup>千円</sup> (129,950)
	特殊債証券	19,874	— (20,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2019年7月2日から2020年6月30日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。



## ■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地 方 債 証 券	142,260	142,746	80.6	61.0	—	—	80.6
特 殊 債 券	9,800	9,831	5.5	—	—	—	5.5
金 融 債 券	10,000	10,010	5.7	—	—	—	5.7
合 計	162,060	162,588	91.8	61.0	—	—	91.8

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>(地方債証券)</b>	%	千円	千円	
3 4 1 回 大阪府公募公債	1.0600	13,910	13,933	2020/08/28
2 2 年度 5 回 大阪市公募公債	1.2000	11,350	11,378	2020/09/17
6 8 8 回 東京都公募公債	0.9400	10,000	10,020	2020/09/18
1 7 8 回 神奈川県公募公債	1.0500	15,500	15,535	2020/09/18
2 2 年度 6 回 千葉県公募公債	1.0800	10,000	10,025	2020/09/25
2 7 年度 4 回 福岡市公募公債 5年	0.1410	7,000	7,002	2020/09/28
2 2 年度 1 回 福井県公募公債	0.9300	22,000	22,066	2020/10/29
2 2 年度 1 1 回 静岡県公募公債	1.0080	12,500	12,550	2020/11/25
6 9 1 回 東京都公募公債	1.2400	25,000	25,142	2020/12/18
2 2 年度 8 回 福岡県公募公債	1.2900	15,000	15,092	2020/12/24
小 計	—	142,260	142,746	—
<b>(特殊債券)</b>	%	千円	千円	
1 2 0 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	0.9000	9,800	9,831	2020/10/30
小 計	—	9,800	9,831	—
<b>(金融債券)</b>	%	千円	千円	
3 1 4 回 利附信金中金債 (5年)	0.2000	10,000	10,010	2021/01/27
小 計	—	10,000	10,010	—
合 計	—	162,060	162,588	—

## ■投資信託財産の構成

2020年6月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 162,588	% 91.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,554	8.2
投 資 信 託 財 産 総 額	177,142	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年6月30日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	177,142,478円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	14,174,536
公 社 債 (評価額)	162,588,068
未 収 利 息	375,919
前 払 費 用	3,955
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	177,142,478
元 本	173,160,950
次 期 繰 越 損 益 金	3,981,528
(D) 受 益 権 総 口 数	173,160,950口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,230円

(注1) 期首元本額	177,903,929円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 米ドルコース	米ドルコース
追加設定元本額	65,008,234円		7,087,354円
一部解約元本額	69,751,213円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 豪ドルコース	豪ドルコース
(注2) 期末における元本の内訳			1,769,440円
MHAMライフ ナビゲーション インカム	2,450,020円	通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) ブラジルリアル	ブラジルリアル
MHAMライフ ナビゲーション 2020	69,422,006円		4,971,163円
MHAMライフ ナビゲーション 2030	5,586,045円	インカムビルダー (毎月決算型) 限定為替ヘッジ	
MHAMライフ ナビゲーション 2040	2,450,020円		1,269,315円
MHAMライフ ナビゲーション 2050	1,476,077円	インカムビルダー (毎月決算型) 為替ヘッジなし	
米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	314,857円	インカムビルダー (年1回決算型) 限定為替ヘッジ	7,349,478円
米国厳選成長株集中投資ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	7,777,756円	インカムビルダー (年1回決算型) 為替ヘッジなし	1,090,599円
米国ハイイールド債券ファンド 円コース	4,409,727円	インカムビルダー (毎月決算型) 世界通貨分散コース	8,026,585円
米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース	5,766,944円		9,719,979円
米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース	15,359,545円	インカムビルダー (年1回決算型) 世界通貨分散コース	
米国ハイイールド債券ファンド 南アフリカランドコース	324,207円		2,399,176円
米国ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース	10,606,394円	期末元本合計	173,160,950円
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 円コース	3,534,263円		

## ■損益の状況

当期 自2019年7月2日 至2020年6月30日

項	目	当	期
(A)	配 当 等 収 益		1,558,762円
	受 取 利 息		1,566,774
	支 払 利 息		△8,012
(B)	有 価 証 券 売 買 損 益		△1,534,519
	売 買 損 益		△1,534,519
(C)	当 期 損 益 金(A + B)		24,243
(D)	前 期 繰 越 損 益 金		4,060,782
(E)	解 約 差 損 益 金		△1,595,263
(F)	追 加 信 託 差 損 益 金		1,491,766
(G)	合 計(C + D + E + F)		3,981,528
	次 期 繰 越 損 益 金(G)		3,981,528

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。